

pic-con!: お気に入りの写真とビーコンを活用して 街中でもう一人の自分を表現するサービス

水野 汰一[†] 岡崎 博樹[‡] 上林 憲行[†]
東京工科大学 メディア学部[†] 手仕事工房[‡]

1. はじめに

写真投稿系ソーシャルネットワークサービス「Instagram」などで最近、特定の場所でないと表現することが難しい登山や釣りなどの趣味や、コスプレなどの写真を、SNS を利用し投稿して自己表現している人がいる。表現者の中には、他人からのお気に入り登録やコメントなどをもらって満足感が得られ、新しい写真に挑戦する意欲がわく人もいる。しかし、SNS で投稿している通りの自分を、現実でも実際に表現している人は少なく、自然と現実とネットでの表現を切り分けてしまっている。

本研究では、Instagram を利用して自己表現をしているユーザーが、アプリと Beacon 端末を利用して自分を表現する写真を持ち歩くことで、SNS 上で行っているように、現実ですれ違う人に現実で見たままの自分と、SNS で表現している両

方の自分を表現し、発信するサービス「pic-con!」を考案して開発した。

2. サービスデザイン

2.1 サービスコンセプト

pic-con! のサービスコンセプトは、現実と仮想空間の両面での自分を表現できるという点にある。

ユーザーは、写真をすれ違う人に発信する発信側と、pic-con! を利用しているユーザーとすれ違った際に写真を受信する受信側の両方の機能を兼ね備える。これにより自分の意図しないタイミングでコミュニケーションが行われるという新しい体験価値を提供する(図1)。

また、pic-con! のターゲットユーザーは、SNS 利用率や年齢層などのデータ¹⁾から、スマートフォンを持ち、Instagram で活発的に自己表現を行うユーザーを対象とした。



図1 pic-con!サービスのカスタマージャーニーマップ

“pic-con!: Personal service expressing on-street alter ego with utilizing my favorite photo and iBeacon device of smart phone.”

[†]TAICHI MIZUNO, [‡]HIROKI OKAZAKI, [†]NORIYUKI KAMIBAYASHI

[†]School of Media Science, Tokyo University of Technology,
[‡]Teshigoto Lab.

2.2 サービスが提供する UX

pic-con! は、Instagram で投稿されたインターネット上の写真の中から、一番自慢したいお気に入りの写真を 1 枚選択し、Bluetooth Low Energy 対応の Beacon 端末に保存しておくことで、すれ違い通信のようにスマートフォンに写真を発信する、写真発信コミュニケーションサービスである(図 2)。

pic-con! の主な特徴は 2 点ある。

● 現実と仮想空間の両面での自分が表現可能

pic-con! では、過去の思い出や特定の場所では表現できない趣味などでも、写真を持ち歩くことで容易に第二の自分を表現することができ、また発信している現在の現実での自分も表現物であるため、pic-con! を利用することで現実と仮想で 2 種類の自分を表現することが可能である。

● 相手とすれ違うだけで写真を受信可能

pic-con! では、スマートフォンで Bluetooth をオンにして歩くと、受信者は、発信者とすれ違うだけで写真が受信される。そのため、ユーザーは自然と発信者からの表現を受け取ることが可能である。

3. プロトタイプ

pic-con! では、Adobe Phone Gap を利用し、開発言語には HTML5, CSS, JavaScript, PHP を利用し開発を行った。また、Beacon 端末には、忘れ物防止デバイスである REX-SEEK1²⁾を用いた。

写真を発信する発信者は、Instagram に投稿した写真の中から 1 枚を選び、一覧からタップすることで選択が可能である。選択後は写真が選択状態になり、変更したい場合はいつでも変更することが可能である(図 3(a))。

他ユーザーが発信した写真を受信した場合、

アプリはプッシュ通知、バイブレーション、アラートにより通知され、アプリを起動すると図 3(b)のようなモーダルウィンドウが開く。



図 3 pic-con!サービス プロトタイプ画面

4. おわりに

2015 年 11 月に開催された MashupAwards11 において、pic-con! は参加並びに東海地方予選会⁴⁾で発表した。

参考文献

- 1) SNS、「Instagram」の利用時間増が顕著に……ICT 総研調べ < <http://www.rbbtoday.com/article/2015/07/30/133884.html> > 2015 年 12 月 21 日アクセス
- 2) ラトックシステム株式会社 REX-SEEK1 < <http://www.ratocsystems.com/products/subpage/seek1.html> > 2015 年 12 月 21 日アクセス
- 3) Nifty Cloud Mobile Backend < <http://mb.cloud.nifty.com/> > 2015 年 12 月 21 日アクセス
- 4) Mashup Battle 1st Stage in 東海 < <http://hacklog.jp/events/49> > 2015 年 12 月 21 日アクセス

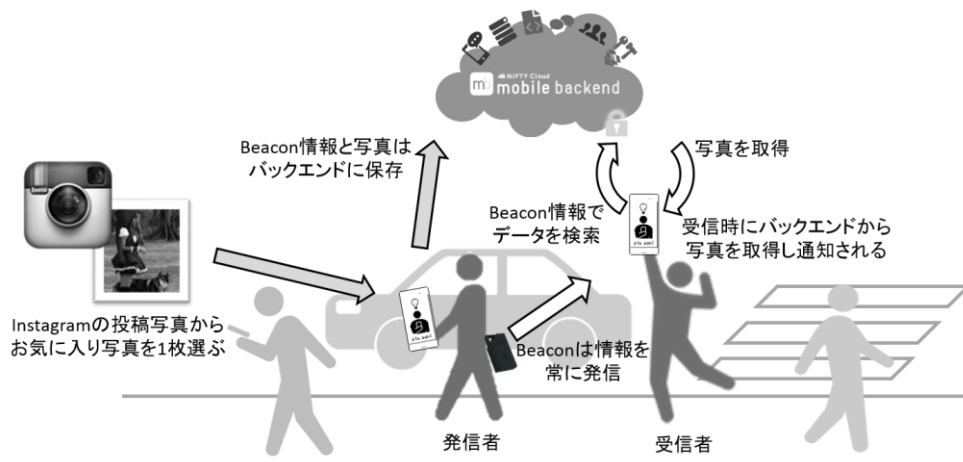


図 2 pic-con!サービス構成図